



令和5年5月1日
目黒区立菅刈保育園長

新緑が美しく、園生活に少しずつ慣れてきた子どもたちは爽やかな風と温かな日差しの中で心を開放して遊んでいます。つぼみ組の子どもたちも保育士に抱っこされて園庭に出てきます。最初は抱っこされながら周りをきょろきょろしていましたが、今ではゴザの上で腹ばいやお座りをして自分から砂に触れていきます。時々“先生いるかな”と確認してはまた遊び始めています。2歳児クラスの子はマットがお気に入り、自分で大きなマットを取り出し運び置いていきます。1枚、2枚と運び3枚並べると、その上に座りゴロンと仰向けになっていました。青い空、白い雲、太陽の眩しさを感じていたのでしょうか。そこに他の子も入り同じように仰向けになり、ゴロンとしていました。会話は無いのですが、時々2人でニコッと笑い合う姿が微笑ましかったです。3歳児クラスの子は虫探しに夢中です。ムシシマンションの木の下をシャベルで掘っては「いた」と一人の子が言えば「どれ」と2、3人で集まり見つめています。そんな中“チョン”と触ると動かなくなってしまったダンゴムシ。子どもたちは「死んじゃったかな」と神妙な顔つきになり見つめています。足が動きはじめた瞬間「あっ動いた」と喜び合う子どもたちの姿がありました。生き物との出会いは子どもの好奇心をかき立て、共に楽しむ仲間とつながるきっかけとなることを改めて感じた場面でした。菅刈保育園の園庭は、子どもたちにとってとても魅力的であり、子どもたちの心を豊かにしてくれる場でもあります。今年度の園だよりにはそんな子どもたちの姿を“えんていつうしん”という形でお伝えします。写真から子どもたちの会話や思いを感じ取っていただけたら嬉しいです。楽しみにしててください。今月から懇談会が始まります。保護者の方と子どもたちの姿を共有し成長を共に喜び合える場としたいと思います。お忙しいと思いますがご参加くださいますようよろしくお願いいたします。



今月の予定

- 春の遠足（4・5歳児クラス）
- 春の西郷山（4・5歳児クラス）
- 身体計測（全クラス）
- 春の健康診断（全クラス）
- 避難訓練

クラス懇談会の日程

- 2歳児クラス懇談会
- 4歳児クラス懇談会
- 5歳児クラス懇談会
- 3歳児クラス懇談会
- 0歳児クラス懇談会
- 1歳児クラス懇談会



入園・進級後の子どもたちの姿をお伝えします

つぼみ組

つぼみ組の子どもたちは、初めての保育園に不安そうな姿もありましたが、保育士と一緒に遊んだり抱っこされたりすることで、安心して遊ぶ姿が出てきました。機嫌のよい時には、寝返りや這い這いをたくさんしています。保育士の膝の上で、「うまはとしとし」と歌いながらふれあい遊びをすると、保育士の顔をじーっと見つめます。そのまま足の上にゴロンと横になってくすぐり遊びをすると「きゃっきゃっ」と声を出して笑うようになり表情が豊かになってきました。



決まった保育士と一緒に遊んだり食べたり眠ったりする中で、心地よさを感じ気持ちが満たされるようにしていきたいと思います。



ひまわり組

ひまわり組の子どもたちは、友達が遊んでいる様子を見て、「入れて」「〇〇ちゃんもやりたいの」と同じ場所で同じことを楽しみたいという姿が見られます。2人の子が牛乳パックで作ったベンチを並べて「水族館行くの」と言って同じようにバッグを手に持ち座っています。その様子を見ていた他の子もバッグを持つと、ベンチに向かい「入れて」と言います。「いいよ」と応えてもらい、保育士がそっとスペースを広げると、嬉しそうに3人で座ります。「バスです」「ブブー」とお出かけごっこの始まりです。

友達と一緒にいると楽しい、嬉しい、心地よいと感じる気持ちを大切に、保育士が仲立ちをする中で子ども同士の思いが共有できるようにしていきます。



うさぎ組

「うさぎ組」という響きに、お兄さんお姉さんになった気分の子もたちは毎日ウキウキしています。登園するとリュックから衣類を出して引き出しに入れる朝の支度にも慣れてきました。難しいパズルに挑戦したり、Paxで作品を作ったりと、好きな遊びを見つけては友達と夢中になって遊び、「すごい完成したよ」「また明日も一緒に作ろうね」と友達と一緒に出来る嬉しさを感じています。困っている子がいれば「どうしたの?」とすぐに駆け寄って話を聞いてあげたりと周りを気にかける姿も多く見られます。

これからも好きな遊びを通して友達関係が深まっていけるように見守っていききたいと思います。



すみれ組

新入児の子どもたちにとっては、最初のうちは泣いてしまう事もありましたが、少しずつ保育士との関係がついてくると、笑顔を見せてくれるようになってきました。「お庭に行こうか」と声を掛けると、保育士の手を引っ張って外を指さし、お庭に行きたいと言葉や仕草で伝えてくれます。園庭では砂場で器に砂を入れたり、出したりを繰り返したり、保育士の手に乗せたダンゴムシをじーっと観察しては、指先でつんつん触ってみたりとそれぞれが楽しい遊びを見つけて遊び始めています。

「あったね」「きもちよかったね」など、子どもの感じた思いを言葉にして共感し、戸外での探索を楽しんでいきたいと思います。



りす組

「今日園庭行ける。早く行こうよ」と園庭で遊ぶことを楽しみにしています。「昨日の続きがしたい」とマットやタイヤを雲梯の下に運び、ぶら下がることを楽しんでいます。「なんかおサルさんみたい」と友達が言ったので、保育士も「おサルさんぶら下がるの上手だもんね」と言うと「ウキー」と鳴き声の真似をしながら次々とぶら下がり始めています。その後も、タイヤで山を作り、板の1本道をサルになりきって四つ這いで渡る等遊びが広がっていきました。

保育士や友達とイメージを共有したり、色々な遊具を組み合わせたりしながら、たくさん体を動かして遊んでいきたいと思います。



きりん組

きりん組がスタートし、子どもたちは「小さい子のお世話をしたい」「お当番を頑張りたい」と、一人ひとりがやってみたいことを見つけ、期待に胸を膨らませています。昨年のきりん組から、当番活動を引き継ぎ、朝は幼児クラスの登園人数表を回収し、事務所や調理室に伝える人数報告をしています。お仕事を終えて、部屋に戻ってくると、「楽しかった」「ちょっと緊張した」とつぶやきが聞えてきます。様々な職員と会話を交わしながら、自分の役割を果たせた嬉しさや小さな達成感を感じています。

「やってみたい」という意欲を大事にし、誰かの役に立つ喜びを自信に変えながら、保育園生活を思い切り楽しんでほしいと思います。

